

思いを伝える

アドバンス・ケア・プランニングのすすめ

④

小柄な彼女は、結婚するならば背が高い人と思っていたらしい。だから見合いの席で夫の身長が気になったという。しかし以前から夫の人柄を知っていた両親の「人は背の高さで決まるものではないよ」という一言に思いを変えて、結婚に踏み切ったのである。

何でも早めに準備するタイプの彼女に対して夫はゆっくりするタイプ、早起きの彼女と朝が遅い夫、高血圧の彼女に低血圧の夫。彼らはもともと補充し合ういい仲だったようだ。

80歳を目前にした彼女に「その後のご主人はどう？」と僕は外来で尋ねた。夫は体調不良で昨年だけで数回、入院したのである。「ええ、落ち着いて」といったんは冷静に答えかけたものの、「でも、もう腹が立って、腹が立って」と、急に彼女の思

今回の担当医 有田健一 先生



イラスト・梶川ゆう子

避けてしまおう最期の話

いがほとぼり始めた。

無理をしないようにしてく

注意する彼女の気遣いに反し

て、夫は草取りにさえ必要以上の時間をかけ、約束の時間が過

ぎても畑から帰って来ないとい

「病氣続きだったのだから、

『もしもの時はどうするの』と言っているのですが、夫は自分のペー

「終末期の話はしたことがない」という彼女のよつに、もしもの時のことを考えたくない人も、将来の漠然とした不安はあるのではないだろうか。もしそうならば、現在の病状を確かめ、正しく病気を理解する

ポイント……

から始めてはどうだろう。自分の人生設計には欠くことのできない情報である。広島県地域保健対策協議会が作成したACPの手引は「あなたの健康について学びましょう」と呼び掛けている。

「スで勝手にやるんです。仕方がないので『あんたは長生きするわ』と突き放すと、『おまえと100歳まで生きるよ』と冗談で言い返す始末で」と口をこがらせた。

「とはいえ、僕は2人がお互いを思いやりながら穏やかな生活をしていると感じた。

「いついつなるか分からないと思うことはあります」と気持ちを抑えて彼女は語る。そして

「どちらが先に逝くことになっても嫌だから、終末期の話は

「したことがないんです」と打ち明けながら、1時間以上もマッサージを続けてくれる夫との生活を「仲良く自宅で過ごせれば、それでええんです」と評価した。

病氣でこの幸せが壊れないようにと祈り、そして努力する彼女は、次の受診日午前6時には家を出て、外来予約の1番目として来院するはずである。

(広島赤十字・原爆病院呼吸器科部長 広島市)

ACP…病氣や事故などで自分の考えを示せなくなった場合に備えて、自分の希望やこれから受けたい医療やケアを考え、周囲に思いを伝えておく試みのことです